

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅣ		授業コード	E002703
担当教員名	鈴木 照夫		科目ナンバリングコード	E31304
配当学年	4	開講期	通年	
必修・選択区分	必修	単位数	4	
履修上の注意または履修条件	人間力の育成に必要な科目ですので、必ず受講して下さい。担任制の授業です。			
受講心得	ゼミナールは、発表、そのための準備を通じて自ら学ぶ力をつける場です。また、様々な意見を持った人たちと討論することによって自分の考えを深める場でもあります。日頃からスポーツをめぐる法的諸問題の動向の把握に努め、自分なりの問題意識を持つようにしてください。ゼミナールでは、毎回、こうして培った自分の考えを積極的に述べましょう。			
教科書				
参考文献及び指定図書	ゼミの進行に伴い、適宜紹介します。			
関連科目	スポーツ法学、行政法、民法ⅠA・ⅠB・Ⅱ 労働法ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、スポーツビジネスマネジメント概論、スポーツ経営学等			

授業の目的	今日、スポーツをめぐる法的問題は、選手の契約・移籍に関する問題、肖像権に関する問題、事故に関する問題、スポーツ団体と競技者との関係に関する問題、その他多岐にわたり、また急増しています。また、一口にスポーツ法と言っても、スポーツ基本法などのスポーツに関する特別な法律だけでなく、民法、労働法その他さまざまな法分野が関わり、さらに、スポーツルールや団体規約などのスポーツ固有法もあります。本ゼミナールでは、このように多方面にわたるスポーツ法の全体像の理解を目標とするものです。
授業の概要	3年次までの学習を踏まえ、卒業研究論文の作成に集中します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション 本講義の目的および内容等について説明します。また、履修状況の確認を行います。	研究計画提出
第2週：研究論文の作成 各自の研究論文の進捗状況について確認をし、研究計画の検討を行います。	レポート提出
第3週：研究論文の作成 各自の研究論文の進捗状況について確認をし、研究計画の検討を行います。	レポート提出
第4週：研究論文の作成 各自の研究論文の進捗状況について確認をし、研究計画の検討を行います。	レポート提出
第5週：研究論文の作成 各自の研究論文の進捗状況について確認をし、研究計画の検討を行います。	レポート提出
第6週：研究論文の作成 各自の研究論文の進捗状況について確認をし、研究計画の検討を行います。	レポート提出
第7週：研究論文の作成 各自の研究論文の進捗状況について確認をし、研究計画の検討を行います。	レポート提出
第8週：研究論文の作成 各自の研究論文の進捗状況について確認をし、研究計画の検討を行います。	レポート提出
第9週：研究論文の作成	

第28週：研究論文の完成と発表資料作成 研究論文の仕上げをし、完成後は発表会に向けて資料を作成します。		発表資料作成
第29週：研究論文の完成と発表資料作成 研究論文の仕上げをし、完成後は発表会に向けて資料を作成します。		発表資料作成
第30週：まとめ－論文発表会－ 各自が作成した研究論文の発表会を行います。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	スポーツ法学における課題を自ら見だし、それに主体的に取り組むことができる。
【知識・理解】	スポーツ法学における課題について必要な知識を獲得できており、問題点の分析に活用することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	スポーツ法学における課題について、自分の考えを説得的に述べることができる。
【思考・判断・創造】	法的思考を身につけている。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点		
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		40点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		30点		
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	講義でのレポートおよび作成した研究論文を評価します。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他(無形成果)	